生物を育てる技術の特徴

教科書 開隆堂 P.148~P.169 東京書籍 P.152~P.157

◎育成する生物の成長や特性、生物育成の技術を調べ、共通する基礎的な 技術の仕組みを理解しよう。

ステップL

作物の栽培、動物の飼育、水産生物の栽培における生物の成長や特性、生物育成の技術を調べよう

ステップ2

作物の栽培、動物の飼育、水産生物の栽培に共通する技術の仕組みをまとめよう

- ○ステップ I 「作物の栽培、動物の飼育、水産生物の栽培における生物の成長や特性、 生物育成の技術を調べよう」
- ※教科書を参考にしながら、それぞれの生物育成について調べたこと記入しましょう。
- ①作物の栽培

栽培する作	物には、どんな植物がありますか。 (5 つあげてみよう)
生物の成長	・植物が成長する仕組みについて、教科書 (開隆堂 P.148、東京書籍 P.153、小学校理科「植物の発芽と成長」など)を参考にしてまとめよう。
生態の特性	・栽培する作物の特性や生育の規則性について、教科書(開隆堂 P.146~P.147、東京書籍 P.153、P.160~P.162)や図鑑、インターネットで調べ、まとめよう。

	・栽培する作物の育成環境を整えたり、成長を管理したりする技術や方法について、教科書 (開隆堂 P.149~P.157、東京書籍 P.152~P.162) を参考にしてま
	とめよう。
育成環境の 調整	

② 動物の飼育

畜産や酪農	しなど、飼育する動物には、どんな動物がいますか。(5 つあげてみよう)
生物の成長	・動物の成長の仕組みについて、教科書 (開隆堂 P.166~P.167、東京書籍 P.154~P.155、中学校理科など) や図鑑、インターネットで調べ、まとめよう。
生態の特性	・飼育する動物の生活や一生、習性、食性などについて、教科書 (開隆堂 P.166~P.167、東京書籍 P.154~P.155) や図鑑、インターネットで調べ、まとめよう。
育成環境の調整	・飼育する動物の育成環境を整えたり、成長を管理したりする技術や方法について、教科書 (開隆堂 P.166~P.167、東京書籍 P.154~P.155) を参考にしてまとめよう。

③ 水産生物の栽培

生物の成長	・魚や海藻、貝の成長の仕組みについて、教科書 (開隆堂 P.168~P.169、東京書籍 P.156~P.157) や図鑑、インターネットで調べ、まとめよう。
生態の特性	・栽培する水産生物の性質や習性、食性などについて、教科書 (開隆堂 P.168 P.169、東京書籍 P.156~P.157) や図鑑、インターネットで調べ、まとめよう。
育成環境の 調整	・栽培する水産生物の育成環境を整えたり、成長を管理したりする技術や方法について教科書 (開隆堂 P.168~P.169、東京書籍 P.156~P.157) を参考にてまとめよう。
	「作物の栽培、動物の飼育、水産生物の栽培に共通する技術の仕組みをまとめよう」 をもとにして、作物の栽培、動物の飼育、水産生物の栽培に共通する技術の仕組み 「生態の特性」、「育成環境の調整」の言葉を用いてまとめよう。

情報セキュリティの技術

教科書 開隆堂 P.190~P.195 東京書籍 P.206~P.209

◎ 情報セキュリティに関わる基礎的な技術の仕組みについて理解しよう。

ステップL

情報通信ネットワークの危険性を知ろう

ステップ2

安全に情報を利用するための仕組みを知ろう

- ※2つのステップについて、写真・グラフ・資料を読んで、それぞれのステップについてまとめよう。(教科書の文章を写したり、道具や作業の方法について絵を書いて吹き出しをつけたりしてみよう。)
- ○ステップI「情報通信ネットワークの危険性を知ろう」
 - ※「情報通信ネットワークの危険性」について、教科書 (開隆堂P. 190~P. 191、東京書籍P. 206~P. 209) を参考にして、その内容を分類し、まとめよう。

《ステップIで分類した危険性が、ステップ2の技術や対策に対応するようにまとめてみよう。					

○ステップ2	「安全に情報	を利田するた	めの仕組み	な知るう
$\bigcup A \cap A \cap A$	$\mathbf{x} + \mathbf{v} = \mathbf{n} + \mathbf{v}$	とかけけると	は ノ レ ノ I上 小口 ひこ	ፖር አውን ነ

※ステップ I の危険性について、どのような対策がなされているのかを、教科書 (開隆堂P. 192~P. 195、東京書籍P. 206~P. 209) を参考にしてまとめよう。

※ステップlで分類した危険性が、ステップ2の技術や対策に対応するようにまとめてみよう。					
ステップー・	2を通して、気にな	ったことについ	いて感想を書	いたり、さらに	調べたことを
めたりして	みよう。(インターネ	ットや本、教科	斗書の資料な	ども参考にして	(みよう。)